



時間を奪うのではなく、時間を与えるソフトウェアを創り続ける

**System Integrator**

インストールマニュアル

# ***SI Object Browser*** **for Oracle 19**

# 1. 動作環境

SI Object Browser for Oracle Ver.19 に必要なマシン性能、バージョンは以下の通りです。

対応 OS	Windows 日本語版 7 / 8.1 / 10(1903) / Server 2008 R2 / Server 2012 / Server 2012 R2 / Server 2016 / Server 2019
対応 RDBMS	Oracle Database 10.1.0~19c(19.3.0) Oracle Database と Oracle クライアントは、同一バージョンの使用を推奨しております。
対応クラウド	• Database Cloud Service: Virtual Machine(Oracle Database Cloud Service) • Autonomous Transaction Processing(Oracle Database Cloud Service) Oracle Database Cloud Service へ SSH 接続を行う場合は、Oracle が推奨する方法を利用してください。 • Amazon EC2 • Amazon RDS
文字コード	SJIS, Unicode UTF-8 環境では、LOB 型データ編集やファイル出力時に BOM(Byte Order Mark)を削除する動作となります。
その他	• Oracle クライアントがインストール済で、かつ SQL*Plus で接続可能であること。 • Oracle クライアントのビット数と、SI Object Browser のビット数が同じであること。(※1) • Microsoft Excel 2010 以降がインストール済みであること。(レポート出力機能で使用) • インターネットに接続可能な環境があること。(※2)

※1 32 ビット版は「x86」フォルダ内のインストーラを、  
64 ビット版は「x64」フォルダ内のインストーラをご利用ください。

※2 SI Object Browser for Oracle ではインターネットによるライセンス認証を導入しております。  
製品版としてご利用いただくためには、インターネット接続環境が必要となります。  
なお、製品をインストールするマシンが直接インターネットに接続できない場合でも、  
別途インターネット接続可能なマシンがあればライセンス認証は可能です。

## ■ 注意：ライセンス認証について

インストール直後のプログラムは、30 日期間制限（機能制限なし）のトライアル版です。  
起動時に表示される登録画面（バージョン情報）にプロダクト NO、プロダクト KEY、  
ライセンス認証 KEY を入力することで製品版としてご利用が可能となります。  
なお、上記ライセンス認証情報の取得には製品のご購入手続きが必要となります。  
詳しいライセンスの登録手順は「**4. 製品登録**」をご参照ください。

## 2. インストール

SETUP.EXE をダブルクリックしてください。

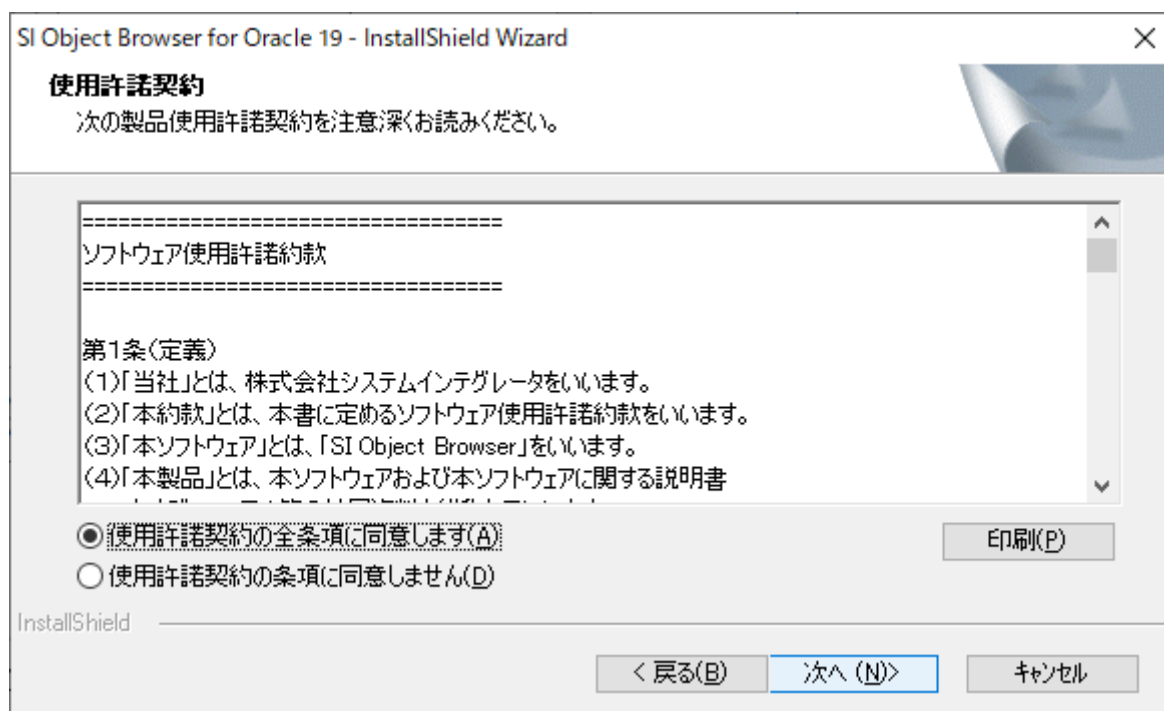
セットアップ画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



使用許諾契約画面が表示されます。

本ソフトウェアをインストールするためには使用許諾契約に同意していただく必要があります。

使用許諾契約をお読みの上、同意いただける場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選んで[次へ]ボタンを押してください。（同意いただけない場合は、[キャンセル]ボタンを押してインストールを中止してください。）



ユーザ情報画面が表示されます。利用者の名前と所属を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

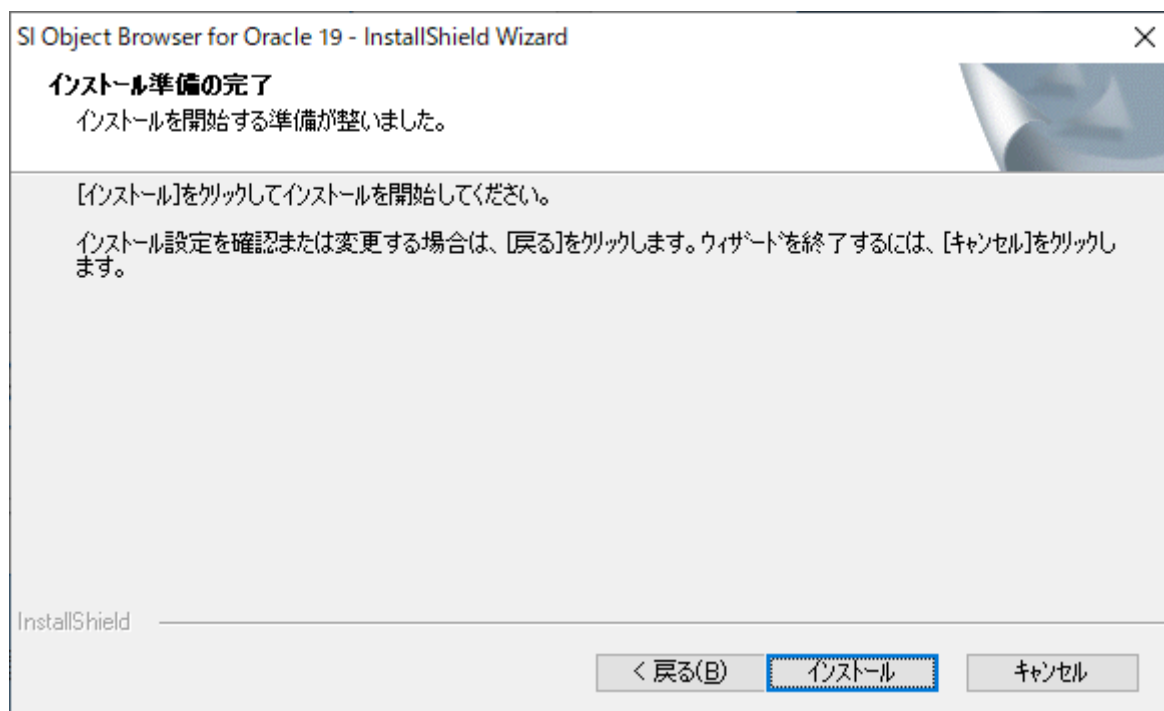
The screenshot shows the 'SI Object Browser for Oracle 19 - InstallShield Wizard' window. The title bar includes a close button (X). The window has a header section with the text 'ユーザ情報' (User Information) and '情報を入力してください。' (Please enter information.). Below this, there is a prompt 'ユーザ名、および会社名を入力してください。' (Please enter the user name and company name.). There are two input fields: 'ユーザ名(U):' (User Name) with the text 'OB' and '会社名(C):' (Company Name) with the text 'SI'. At the bottom, there is a status bar with the text 'InstallShield'. The bottom right corner contains three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N)>' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N)>' button is highlighted with a blue border.

インストールするフォルダを指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'SI Object Browser for Oracle 19 - InstallShield Wizard' window. The title bar includes a close button (X). The window has a header section with the text 'インストール先の選択' (Select Installation Location) and 'ファイルをインストールするフォルダを選択してください。' (Please select the folder to install the files.). Below this, there is a folder icon and the text 'SI Object Browser for Oracle 19 のインストール先:' (SI Object Browser for Oracle 19 Installation Location:) followed by 'C:\Program Files\OBO19'. To the right of this text is a button labeled '変更(C)...' (Change...). At the bottom, there is a status bar with the text 'InstallShield'. The bottom right corner contains three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N)>' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N)>' button is highlighted with a blue border.

インストール準備の完了画面が表示されます。

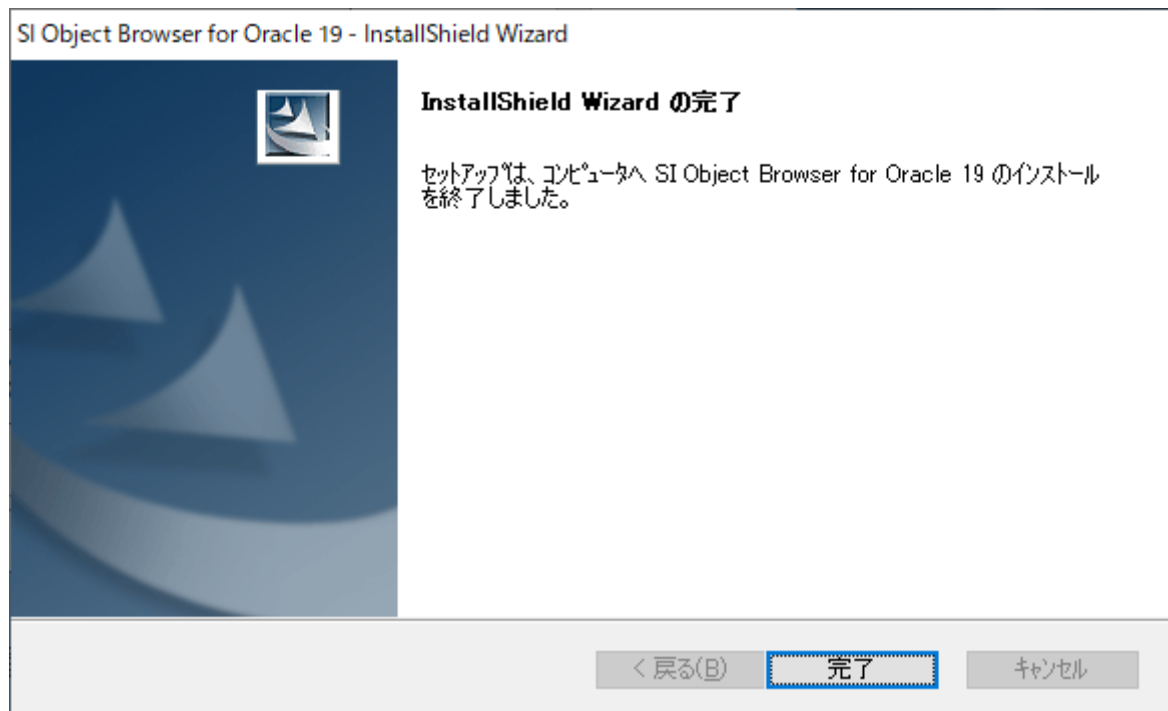
インストールする場合は[インストール]ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。



OS が Windows 7 以降、インストールが開始された時点で下のような画面が表示された場合、[はい]を選択してください。



下の画面が表示されましたらセットアップは終了です。[完了]ボタンを押してください。

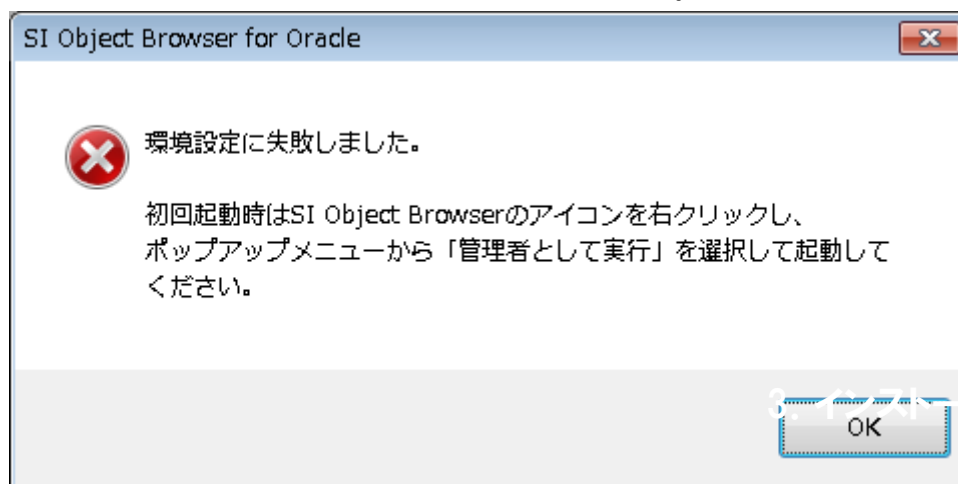


### 3. インストール後の初回起動

インストール後の初回の起動は、必ず Administrator 権限をもつユーザで SI Object Browser の起動を行ってください。OS が Windows 7 以降の場合は、「SI Object Browser for Oracle 19」の起動アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから**[管理者として実行]**を選択し、初回起動を行ってください。

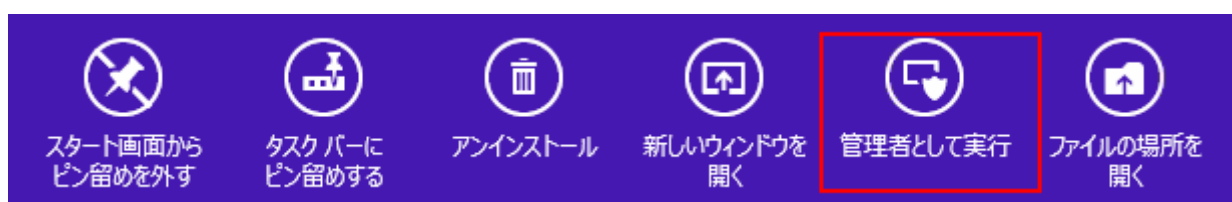
(2回目以降の起動は Administrator 権限をもたないユーザでかまいません。)

Administrator 権限をもたないユーザで起動した場合は、以下のようなメッセージが表示されますので、Administrator 権限をもつユーザにログインしなおした上、再度 SI Object Browser の起動を行ってください。



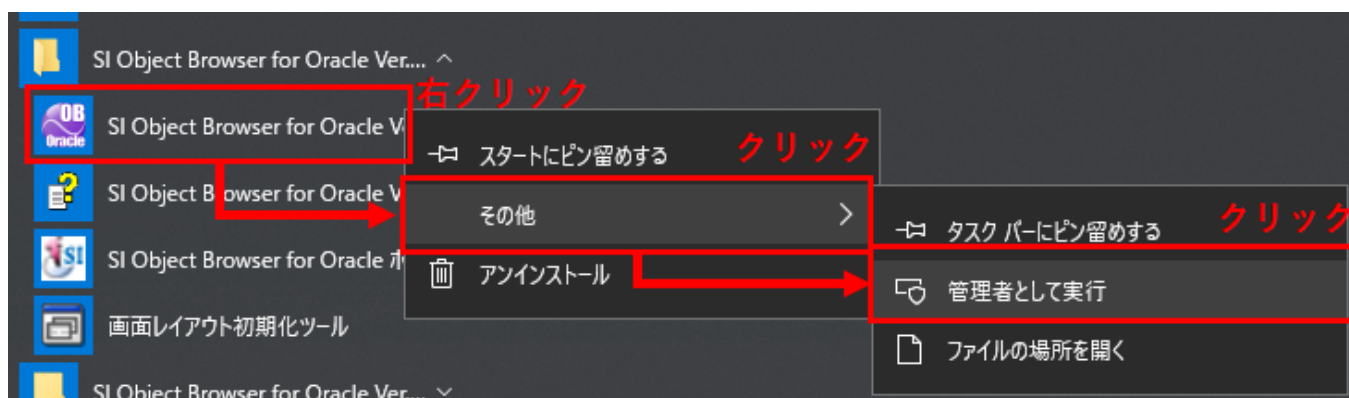
#### ■Windows 8.1 にて「管理者として実行」する場合

スタート画面上に表示された製品アイコンを右クリックすると、画面下部に以下のようなメニューが表示されますので、こちらから実行できます。

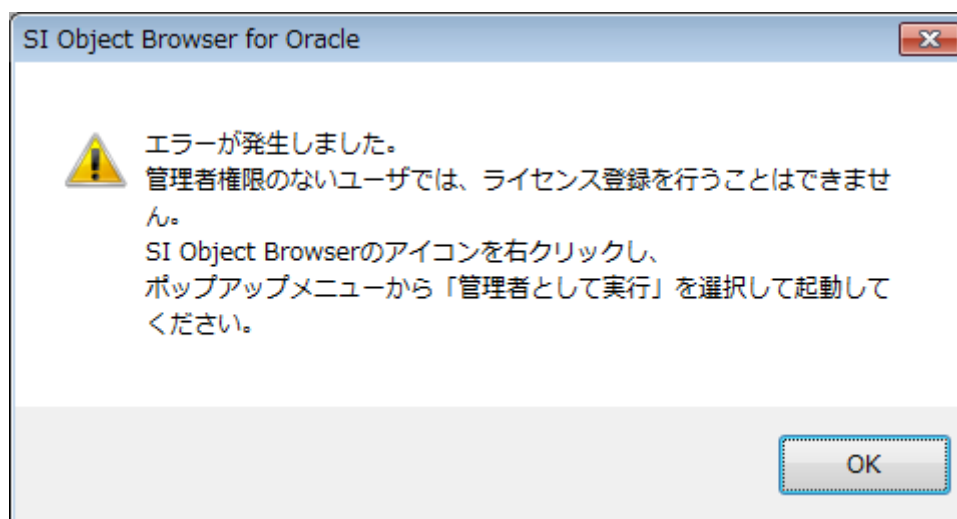


■Windows 10にて「管理者として実行」する場合

スタートメニュー上の全てのアプリなどに表示された製品アイコンを右クリックすると、以下のようなメニューが表示されますので、こちらから実行できます。



管理者として実行を選択しなかった場合は、以下のようなメッセージが表示されますので、ポップアップメニューから[管理者として実行]を選択し、初回起動を行ってください。





## 4. 製品登録

製品をご購入のお客様が、トライアル版から製品版にするための手順を案内いたします。

当製品ではインターネットによるライセンス認証を導入しております。

購入したライセンス数を超えて製品を利用することはできませんのでご注意ください。

※ライセンス認証は、製品が正規にライセンスを受けたことを確認するために行うライセンスの不正使用防止技術です。  
ライセンス認証を行っても、個人情報が送信されることはありません。

①「3. インストール後の初回起動」と同様に、

Administrator 権限のあるユーザ(OS が Windows 7 以降の場合は管理者モード)にて製品を起動します。起動画面にてプロダクト NO、プロダクト KEY を入力後、[ライセンス認証 KEY の取得]ボタンをクリックします。

バージョン情報

SI Object Browser for Oracle 19 (x64)

© 1997 株式会社システムインテグレータ

30日間の試用期限が切れました。  
プロダクトNO, プロダクトKEY, ライセンス認証KEYを  
入力して頂けますと継続してご利用いただけます。

プロダクトNO.

プロダクトKEY

ライセンス認証KEY

ライセンス認証KEYの取得

[ライセンス登録手順](#)

登録 終了

## インターネットに接続できる場合

②インターネットに接続できる場合は以下のような画面が表示されます。

登録名を入力後、[登録]ボタンをクリックします。

ライセンス認証

SI Object Browser ライセンス認証

ライセンス登録を行い、ライセンス認証KEYを取得します。

プロダクトNO XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

プロダクトKEY OB-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

認証番号 OL-XXXXXXXXXXXX

登録名 OB14

※登録名は、御社にてライセンスの登録状況を調べるために使用します。  
御社内にてライセンス使用者を識別するための名前を入力してください。

登録

インターネットにてライセンス登録を行います。[登録]ボタンを押してください。  
「ページを表示できません」と表示される場合、インターネット接続可能な環境より  
<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=1>  
にアクセスし、以下の情報を入力してライセンス認証KEYを取得してください。

プロダクトNO. : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
プロダクトKEY : OB-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
認証番号 : OL-XXXXXXXXXXXX

閉じる

※「登録名」は誰がそのライセンスを使用しているのか、ライセンス管理者が確認するためのものです。

ニックネームなど任意のもので構いませんが、貴社におけるライセンスの管理者が社内の使用者を特定できるような名前を入力してください。

ライセンスの登録状況が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。

ライセンス認証

SI Object Browser ライセンス認証

該当ライセンスの登録可能ライセンス数は **200** ライセンスです。  
残り **189** 回登録することが可能です。

登録しますか？

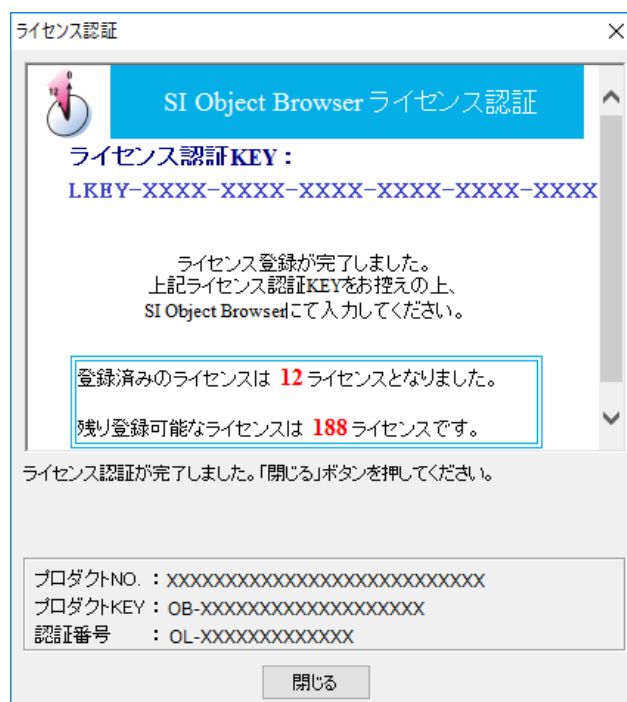
はい いいえ

インターネットにてライセンス登録を行います。[登録]ボタンを押してください。  
「ページを表示できません」と表示される場合、インターネット接続可能な環境より  
<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=1>  
にアクセスし、以下の情報を入力してライセンス認証KEYを取得してください。

プロダクトNO. : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
プロダクトKEY : OB-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
認証番号 : OL-XXXXXXXXXXXX

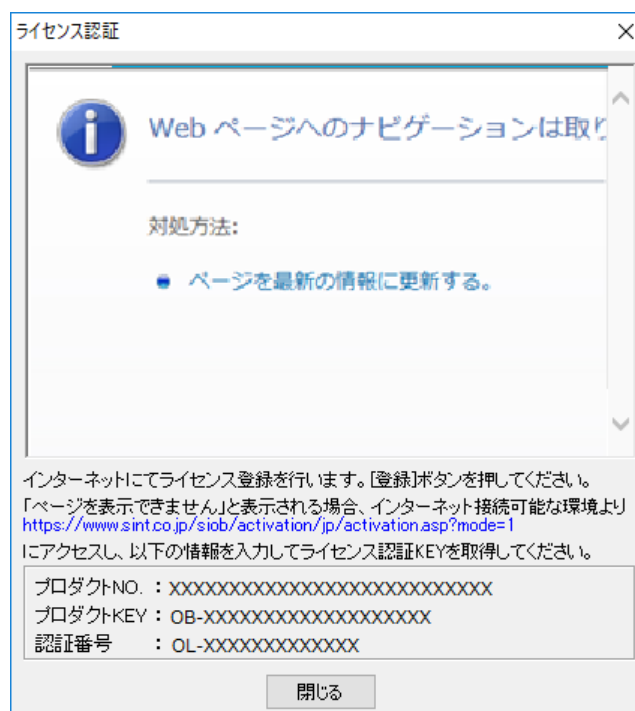
閉じる

ライセンス認証 KEY が表示されます。[閉じる]をクリックします。



### インターネットに接続できない場合

- ②インターネットに接続できない場合は、以下のような画面になりますので、画面下部に表示される「プロダクト NO」、「プロダクト KEY」、「認証番号」を控えてください。



※認証番号はライセンス認証を行う端末の情報をもとに発行されるもので、発行された端末以外のライセンス認証には利用できません。

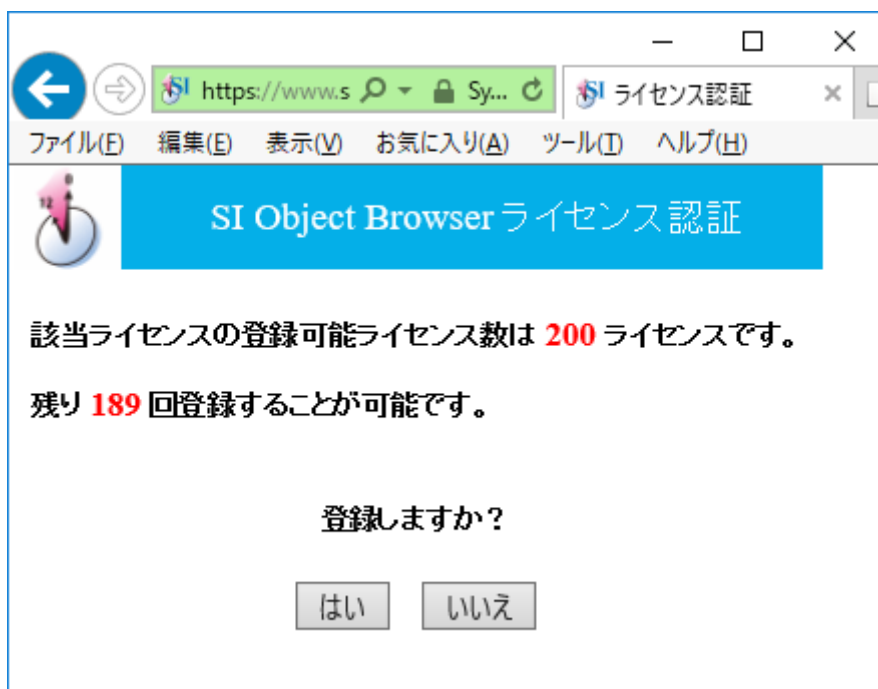
次に別途、インターネット接続できる環境の Web ブラウザより、以下の URL までアクセスします。

<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=1>

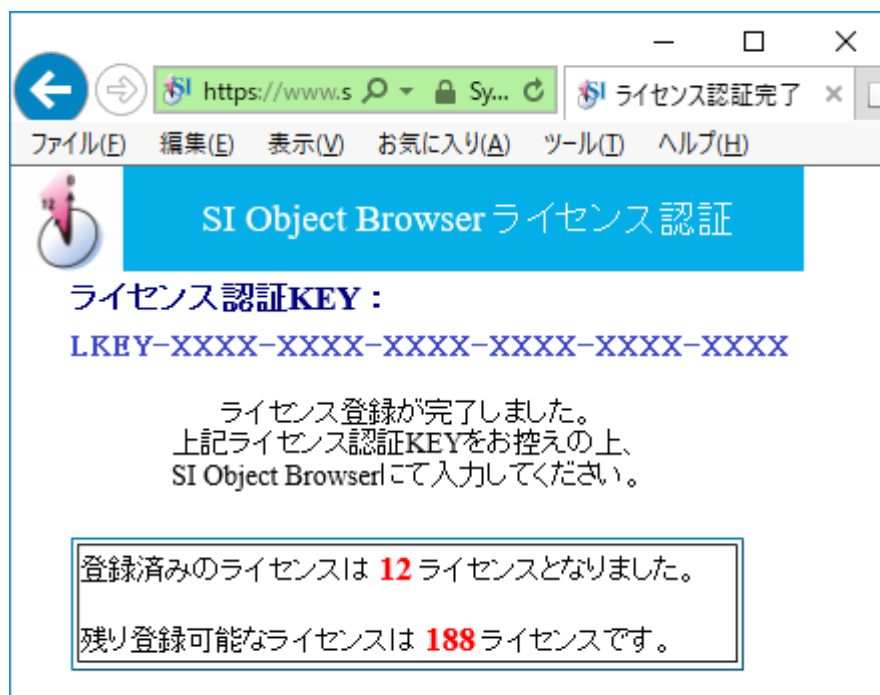
「プロダクト NO」、「プロダクト KEY」、「認証番号」、「登録名」を入力後、**【登録】**ボタンをクリックします。

※「登録名」は誰がそのライセンスを使用しているのか、ライセンス管理者が確認するためのものです。ニックネームなど何でもかまいませんが、貴社におけるライセンスの管理者が、社内の使用者を特定できるような名前をご入力ください。

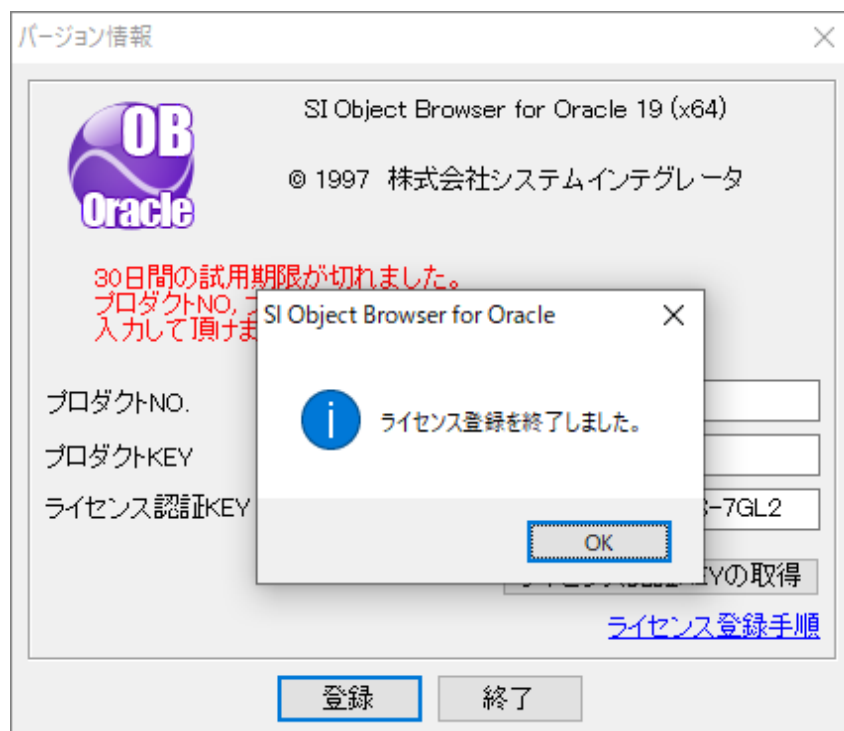
ライセンスの登録状況が表示されます。**【はい】**ボタンをクリックします。



ライセンス認証 KEY が表示されます。ライセンス認証 KEY を控えてください。



- ③起動時の画面に戻り、②で取得したライセンス認証 KEY を入力し、**【登録】**ボタンをクリックします。  
「ライセンス登録を終了しました。」とメッセージが表示されます。以上で製品登録は完了です。



## 5. 製品の登録解除

製品登録後、マシンを入れ替える場合や、再登録したい場合は、ライセンスを解除していただく必要があります。それぞれ以下の手順にて行ってください。

- 現在のマシンから他のマシンへ製品を入れ替えたい場合

「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」よりアンインストールしてください。

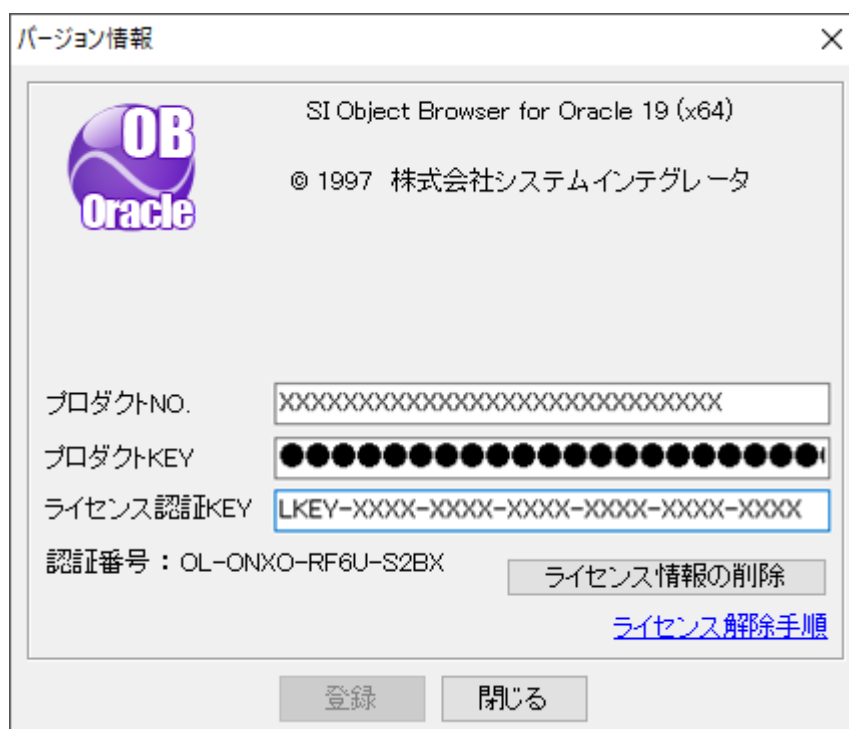
ライセンスが登録済の場合は、自動でライセンス解除画面が表示されます。

- 新しいプロダクトKEYで製品を再登録したい場合

上記と同様の手順で、アンインストール後、再度インストールしていただくか、

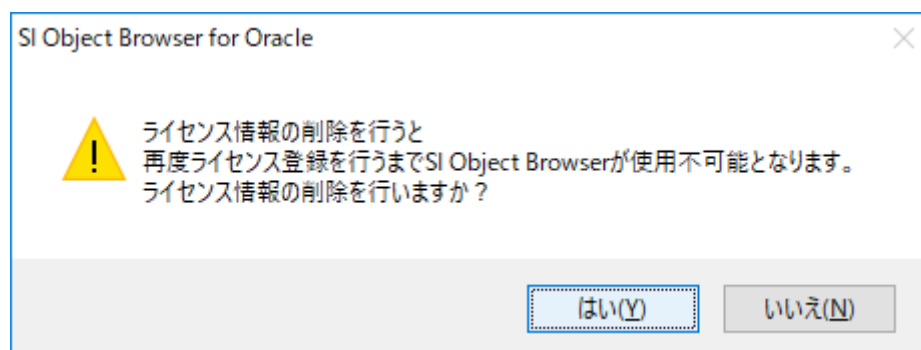
「3. インストール後の初回起動」と同様に、Administrator 権限のあるユーザ(OS が Windows 7 以降の場合は管理者モード)にて製品を起動し、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」を選択します。

以下のような画面が表示されますので、[ライセンス情報の削除]ボタンをクリックします。



削除の確認のダイアログが表示されますので、[はい]をクリックします。

※[はい]を押した時点で、再度製品登録を行うまで製品は使用不可となります。ご注意ください。



ライセンス解除画面が表示された後は、以下の操作を行ってください。

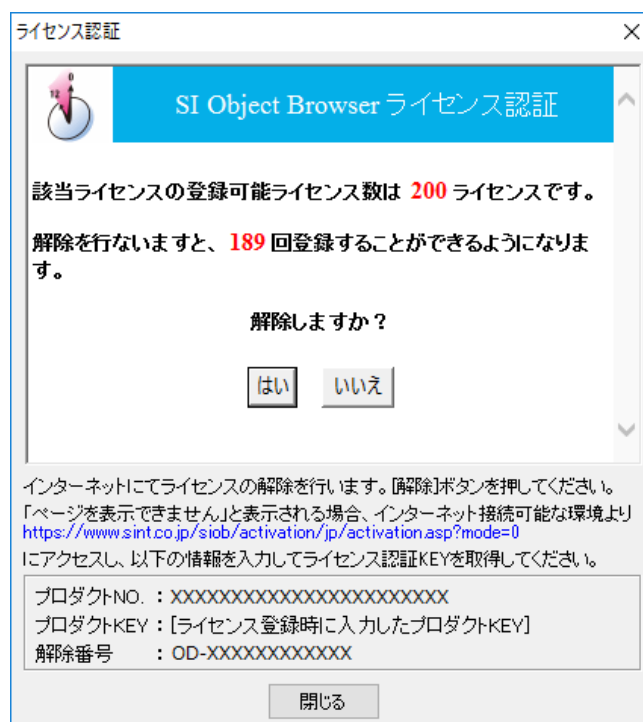
### インターネットに接続できる場合

②インターネットに接続できる場合は以下のような画面が表示されます。

[解除]ボタンをクリックします。

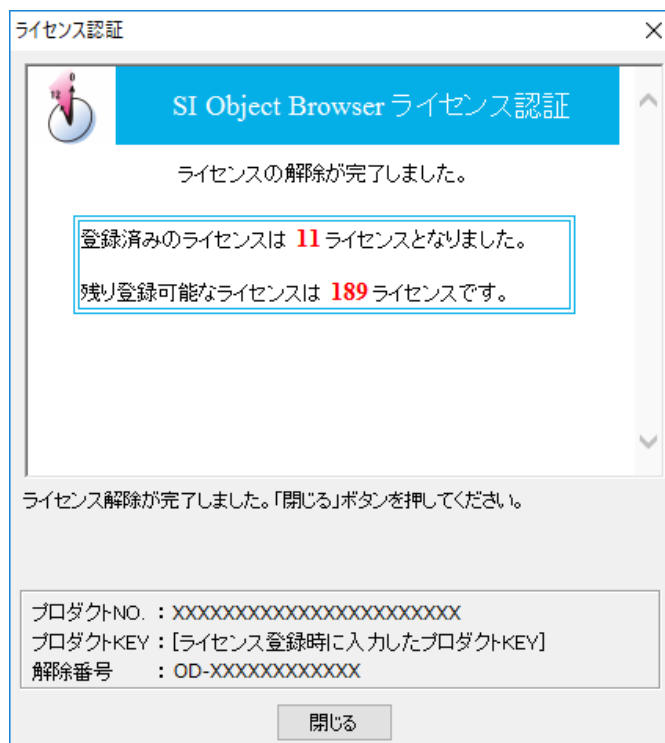


ライセンスの登録状況が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



ライセンス解除の完了画面が表示されます。[閉じる]をクリックします。

SI Object Browser が自動で終了されます。





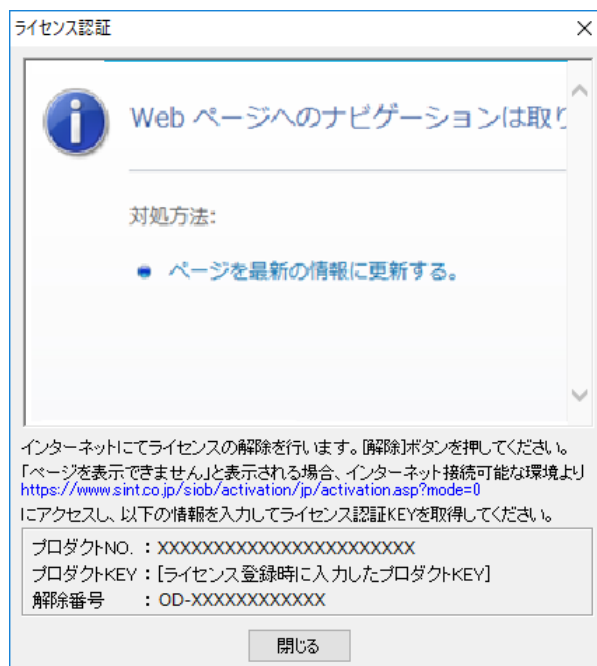
## インターネットに接続できない場合

②インターネットに接続できない場合は、以下のような画面になりますので、画面下部に表示される「プロダクト NO」、「プロダクト KEY」、「解除番号」を控えてください。

「解除番号」はあとで調べることができませんのでここで必ずお控えください。

[閉じる]を押してください。終了確認の警告が表示されますので、[はい]をクリックします。

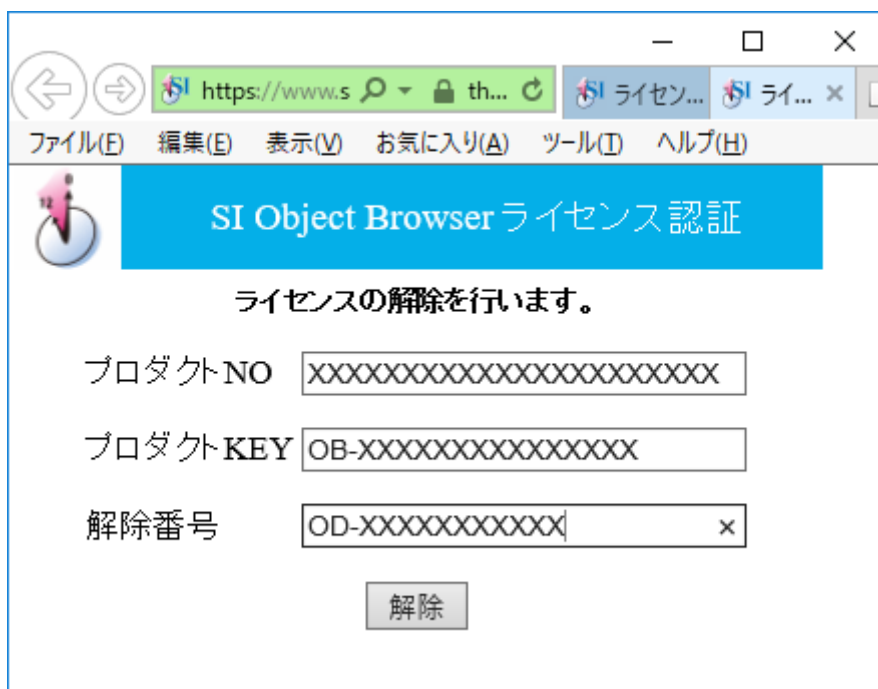
SI Object Browser が自動終了します。



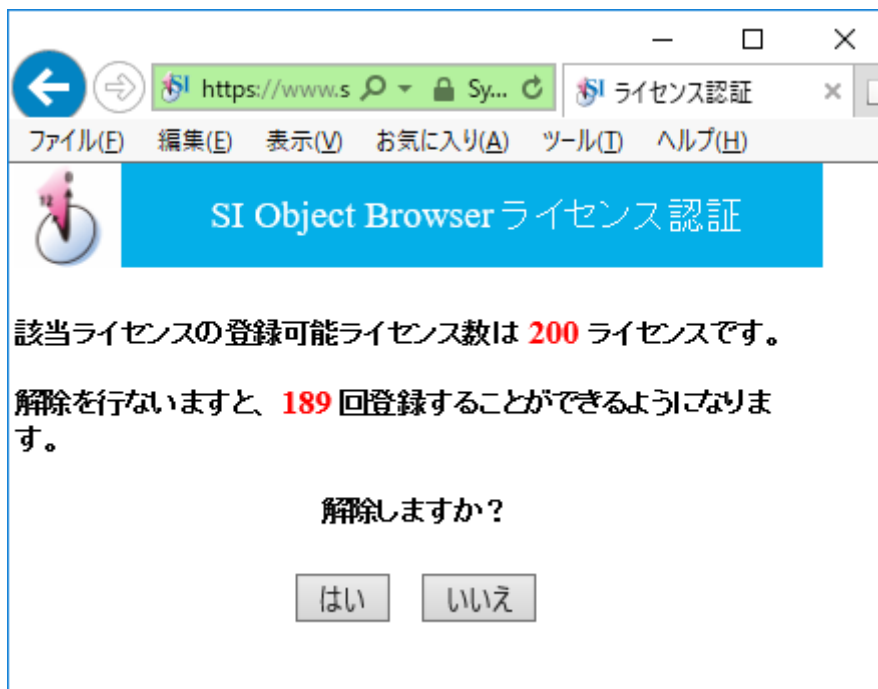
次に、別途インターネット接続できる環境の Web ブラウザより、以下の URL までアクセスします。

<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=0>

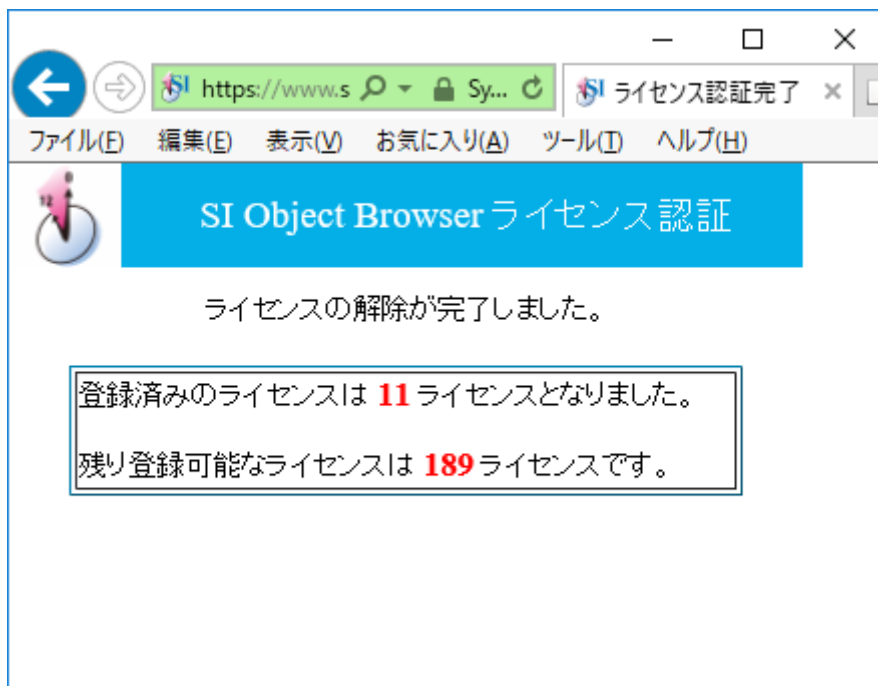
「プロダクト NO」、「プロダクト KEY」、「解除番号」を入力後、[解除]ボタンをクリックします。



ライセンスの登録状況が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



ライセンス解除の完了画面が表示されます。



以上で製品の登録解除は完了です。

登録解除後、再度ライセンス登録する場合は「4.製品登録」の手順で再登録をお願いします。